



国連世界観光機関 (UNWTO) 駐日事務所

2022年8月25日

国連世界観光機関 (UNWTO) 世界観光指標 (World Tourism Barometer) 2022年7月号について

本報道発表の原文（英語）は、下記リンクにてご覧いただけます。

世界観光指標原文（英語）は、下記リンクにて抄録（無償）

及び全文（有償）をご覧いただけます。 <https://www.e-unwto.org/>

課題が増加する中、国際観光は堅調な回復を確かなものに

2022年8月1日

マドリッド

経済及び地政学的な課題が著しく増加しているにも関わらず、国際観光は引き続き、パンデミックの影響から堅調で着実な回復の兆しを見せている。

最新の UNWTO 世界観光指標(World Tourism Barometer)によると、2022年の最初の5か月で国際観光は力強い回復を示し、国際観光客到着数が約2億5,000万人となった。これは2021年1月から5月までの到着数が7,700万人であったことと比較すると顕著であり、観光セクターがパンデミック前の2019年の水準の約半分(46%)まで回復したことになる。

World Tourism Organization (UNWTO) Regional Support Office for Asia and the Pacific
- A Specialized Agency of the United Nations

Silkia Nara 2F, Sanjo-honmachi, Nara, 630-8122, Japan Tel: +81(742)30-3880 Fax: +81(742)30-3883 Email: info@unwto-ap.org

UNWTO ズラブ・ポロリカシュヴィリ事務局長は、「立ちはだかる課題を乗り越え、世界各地で観光セクターの回復が加速しています。」と述べた。また、「2022 年中及びそれ以降に、経済的な逆風と地政学的な課題が観光セクターに影響を及ぼす可能性がある」ことを考慮するよう、注意を促した。

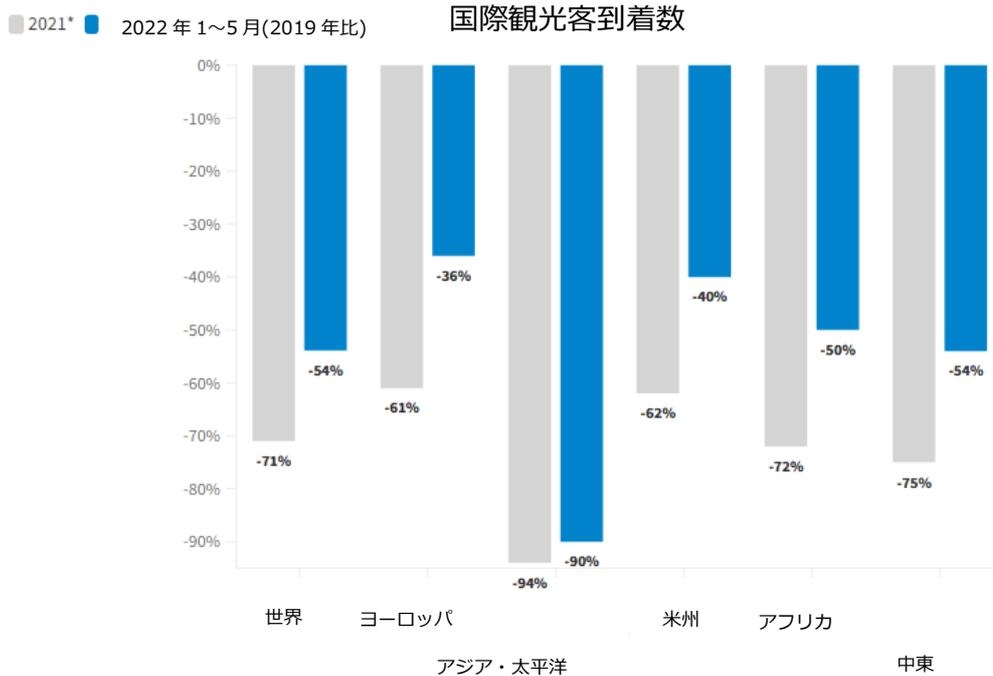
ヨーロッパ及び米州が回復を牽引

ヨーロッパでは、堅調な域内需要と観光目的も含む渡航に対する制限を完全に撤廃する国々の増加に後押しされ、2022 年 1 月から 5 月の間に、国際観光客到着数が前年同期比で 4 倍を超えた(+350%)。同地域では特に 4 月の実績が堅調で(+458%)、イースター（復活祭）の繁忙期を反映している。**米州**では到着数が 2 倍以上(+112%)となった。しかし、この力強い回復は 2021 年の低調な結果と比較して測られたものであり、両地域でそれぞれ依然として 2019 年の水準の 36%、40%を下回った。

立ちはだかる課題を乗り越えて、世界各地で観光回復が加速

他地域でも同じ傾向が見られる。**中東**(+157%)と**アフリカ** (+156%)では力強い成長が見られたが、依然として 2019 年の水準をそれぞれ 54%、50%下回った。**アジア・太平洋**の国際観光客到着数は、不要な渡航に対して一部の国・地域で国境が閉ざされたままであったために、2019 年より 90%下回ったものの、前年同期比で約 2 倍(+94%)となった。同地域では、最近の観光を目的とする渡航に対する制限（以下、「渡航制限」という。）の緩和が 4 月及び 5 月の実績の改善に表れていることが分かる。

準地域別では、国際観光客到着数は**カリブ海及び中央アメリカが牽引、南・地中海ヨーロッパ、西ヨーロッパ及び北ヨーロッパが追随し**、一部の準地域ではパンデミック前の水準の 70%~80%まで回復した。特筆すべきは、米領バージン諸島、サンマルタン、モルドバ、アルバニア、ホンジュラス、プエルトリコを含む一部の国・地域で、2019 年の水準を超えたことである。



出典：国連世界観光機関(UNWTO) *2019年比(暫定データ)
2022年7月UNWTOによるデータ収集。2022年8月1日発表。

観光支出も増加

主要な送客市場（ソースマーケット）からの**観光支出**は増加しており、回復の実績と一致している。フランス、ドイツ、イタリア及び米国からの観光客による国際観光支出は現在、パンデミック前の水準の70%~85%であり、インド、サウジアラビア及びカタールからの観光客による支出は既に2019年の水準を上回った。

各国・地域の**国際観光収入**に関しては、モルドバ、セルビア、セイシェル、ルーマニア、北マケドニア、セントルシア、ボスニア・ヘルツェゴヴィナ、アルバニア、パキスタン、スーダン、トルコ、バングラデシュ、エルサルバドル、メキシコ、クロアチア、ポルトガルといった、益々多くの国々でパンデミック前の水準まで完全に回復してきている。

増加する課題を切り抜ける

特に渡航制限の緩和や解除を行う国・地域の増加による、北半球の夏季における需要の高まりは、これらの好結果をさらに確たるものとするが見込まれる。7月22日

時点で、62の国・地域(うち、39の国・地域がヨーロッパ)において、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)関連の渡航制限は課せられておらず、アジアでも渡航制限を緩和する国・地域が増加している。

国際民間航空機関(ICAO)によると、2022年の航空会社により提供される国際航空便の座席数の全体的な減少は、2019年比で20%~25%に留まるとされている。また、このようなレジリエンス(強靱性)は、ホテルの稼働率にも反映されている。観光セクターのベンチマークを行っているSTR社のデータに基づくと、2022年、世界におけるホテルの稼働率は1月の43%から6月には66%まで上昇した。

しかし、見込みを超える需要の高まりは、事業や労働力面において、甚大な課題をもたらした。同時に、ウクライナ戦争やインフレと金利の上昇、景気後退の不安が、引き続き回復へのリスクとなっている。国際通貨基金(IMF)は、世界経済の成長率が2021年の6.1%から、2022年には3.2%、そして2023年には2.9%に減速すると指摘している。同時にUNWTOは引き続き、世界保健機関(WHO)と緊密に連携し、今回のパンデミック、新たに出現した公衆衛生上の緊急事態及びそれらによる渡航への潜在的な影響を監視している。

2022年の地域ごとのシナリオ

2022年5月にUNWTOが発表した今後のシナリオでは、2022年には国際観光客到着数がパンデミック前の水準の55%~70%に達すると示している。結果は主に、渡航制限の変更、エネルギー価格の高騰を含むインフレの進行、経済全般の状況、ウクライナ戦況の変化、パンデミックに関連する公衆衛生の状況等の変化する情勢に左右される。人員不足、空港の大混雑、フライトの遅延やキャンセル等のより直近の課題もまた、国際観光の統計に影響を及ぼす可能性がある。

地域別のシナリオでは、2022年にヨーロッパと米州が最高の実績を記録すると見込まれる一方、アジア・太平洋は厳しい渡航制限の継続により遅れをとることが見込まれている。**ヨーロッパ**の国際観光客到着数は、様々な状況次第で、2022年には2019年の水準の65%~80%まで、**米州**では2019年の水準の63%~76%まで伸びる可能性がある。

アフリカ及び中東においては、国際観光客到着数はパンデミック前の水準の約 50%～70%に達する可能性があり、アジア・太平洋ではより厳しい政策と制限のため、最善のシナリオにおいても依然として 2019 年の水準の 30%に留まることが見込まれている。

関連リンク：

- [世界観光指標 2022 年 7 月号抄録](#)



- [世界観光指標 2022 年 7 月号 PPT 版](#)



○UNWTO World Tourism Barometer (UNWTO 世界観光指標「バロメーター」)とは

UNWTO 世界観光指標（「バロメーター」）は最新の世界の観光動向を示す統計指標で、UNWTO 本部から、年 6 回を目処に公表されます。国連世界観光機関（UNWTO）駐日事務所では、本部の公表にあわせてタイムリーに情報提供しています。

○国連世界観光機関（UNWTO）について

UNWTO は、1975年1月に観光に関する国際機関として設立され、2003年に国連の専門機関に移行した観光に関する国際機関です。観光の地位・競争力の向上、持続可能な観光の推進、観光を通じた貧困削減や開発の推進等を支援しています。

国連世界観光機関（UNWTO）駐日事務所は、UNWTO の地域事務所として、1995年に設立されました。同事務所ではアジア太平洋地域の交流促進を図り、観光を通じた経済発展や国際相互理解の増進を図るために、国際会議、セミナー、シンポジウムの開催や調査研究業務を行っています。

●お問い合わせ先(UNWTO 本部; メディア専用窓口)

E-mail: comm@unwto.org

Tel: (+34) 91 567 8100

※メディアの方は本部へ直接、英語でお問合せください。

お問い合わせ方法につきご質問がある方は

UNWTO 駐日事務所までご連絡ください。

○一般のお問合せ先

国連世界観光機関 (UNWTO) 駐日事務所
(一般財団法人アジア太平洋観光交流センター)

担当 : 吉田

電話 : 0742-30-3880

E-mail: info@unwto-ap.org

